

コミュニティ・スクール 実践集2018



平成31(2019)年3月
名張市教育委員会

目 次

名張市のめざすコミュニティ・スクール姿	・・・	1
各学校運営協議会の取組		
■南中学校区 学校運営協議会 （つつじが丘小学校・南中学校）	・・・	5
■蔵持小学校 学校運営協議会	・・・	9
■比奈知小学校 学校運営協議会	・・・	12
■箕曲小学校 学校運営協議会	・・・	14
■錦生赤目小学校 学校運営協議会	・・・	16
■百合が丘小学校 学校運営協議会	・・・	18
■赤目中学校 学校運営協議会	・・・	20
付録：コミュニティ・スクールだより	・・・	22

はじめに

名張市では、平成28年3月に策定した「第二次名張市子ども教育ビジョン」のなかで、「名張版コミュニティ・スクールの創設」を新たな取組として掲げ、平成32（2020）年度には、市内全小中学校19校にコミュニティ・スクールを置くことをめざした取組を進めています。

平成28年度には、国の「コミュニティ・スクール導入等促進事業」を受託し、つつじが丘小学校と南中学校をモデル校として導入に向けての研究を始め、平成29年4月に、両校が、学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）となりました。

平成30年4月には、比奈知小学校・錦生赤目小学校・箕曲小学校・百合が丘小学校・赤目中学校が、11月からは蔵持小学校がコミュニティ・スクールとなり、他の11校についても設置に向けた準備を進めているところです。

この「コミュニティ・スクール実践集2018」は、今年度のコミュニティ・スクール設置校における特色ある実践を集めたものです。各校における地域とともにある学校づくりをめざし、試行錯誤を重ね取り組まれてきた実践を知り、今後のコミュニティ・スクールの取組推進に活用していただければ幸いです。

平成31年3月

名張市教育委員会

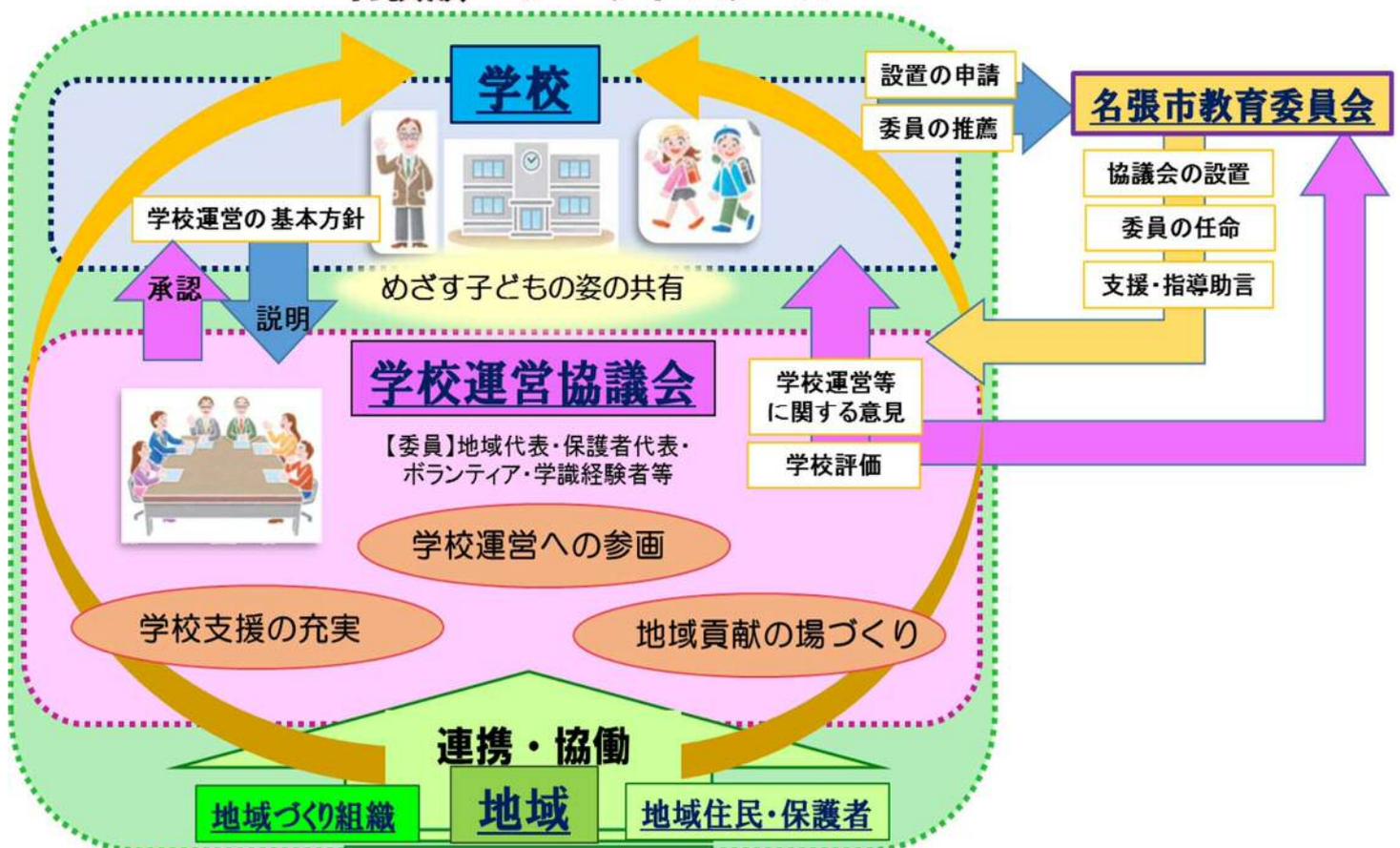
名張市のめざす コミュニティ・スクールの姿

1) 名張版コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは、未来を担う子どもたちの豊かな成長のために学校・地域・保護者が連携・協働し、それぞれが、自分たちに何ができるか当事者意識をもって子どもたちの成長を支えていく仕組みです。子どもを取り巻く環境は今後、大きく変化していくものと考えられ、これからの時代を生きる子どもは、一人ひとりが多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的にたくましく切り拓いていく力や人と繋がり、共に学び合い、支え合って豊かな未来の社会を築いていく力が求められます。

名張市では、市内すべての小中学校にコミュニティ・スクールを置き、「学校運営」「学校支援」「地域貢献」を3つの柱とした取組を実施します。それぞれのコミュニティ・スクールでは、学校・保護者・地域の皆さんが、めざす子どもの姿を共有し、地域の子どもたちの「学び」と「育ち」に係わる当事者として、連携・協働した取組を実施します。

* 名張版コミュニティ・スクール *



2) 名張版コミュニティ・スクール 3つの柱

① 学校運営への参画

市内のコミュニティ・スクールでは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営へ意見を反映させています。学校運営協議会にてめざす子どもの姿を共有し、教育課程・授業改善・学校評価等の学校運営に参画しています。小中一貫教育英語カリキュラムの一貫である国際交流イベントへの運営・参加など、小中一貫教育の教育活動へも参画しています。

学校運営方針の承認



めざす子どもの姿 熟議



ワークショップ形式の熟議



授業公開



小中一貫教育への参画



学力向上についての熟議



② 学校支援の充実

名張市では、平成17年度より学校支援ボランティアの登録制度を設け、平成20年度以降、国の学校支援地域本部事業を受け、学校支援の仕組みを構築してきました。

コミュニティ・スクールの設置により、めざす子どもの姿の実現のための学習支援・部活動支援・環境美化・安全確保支援等の学校支援体制がさらに充実してきています。

学 習 支 援



部活動支援



環境美化支援



校内環境美化支援



読み聞かせ



ゲストティーチャー



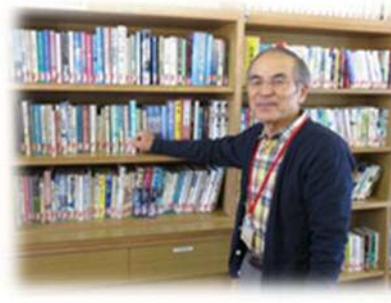
あいさつ運動



登下校見守り支援



図書館整備支援



③ 地域貢献の場づくり

名張市内それぞれの地域づくり組織では、将来計画である「地域ビジョン」を策定しています。「地域ビジョン」には、地域づくり活動への参画や地域の担い手づくりに向けた、さまざまな活動が盛り込まれています。

コミュニティ・スクール設置校では、「地域ビジョン」を共有し、地域を愛し地域を担う人づくり、地域の絆づくりのため、まちづくり活動への参画や地域・学校合同防災訓練、地域の清掃活動など、学校の特色を生かした地域貢献の場づくりを行っています。子どもたちが今住んでいる地域のことを知ることは、地域を担う人づくり、絆づくりにつながるとして、地域学習へも積極的に取り組んでいます。

まちづくり活動への参画



地域行事への参加



合同防災訓練



地域の清掃活動



米づくり体験活動



市民センター見学



伝統文化体験学習



学校図書館の地域への開放



地域の方へ感謝を伝える



各学校運営協議会の取組

南中学校区（つつじが丘小学校・南中学校）

南中学校区は、つつじが丘小学校と南中学校において、本年度より小中一貫教育を本格実施している。コミュニティ・スクールについても合同で学校運営協議会を行い、小中一貫教育の実施についても参画いただいている。

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会（平成30年5月29日 火曜日 午後7時～8時30分）

- ① 設置証交付、委嘱状交付
- ② 平成30年度つつじが丘小学校・南中学校学校運営協議会について
- ③ 平成30年度学校運営の基本方針・教育課程等について（承認）
- ④ つつじっ子会議について
- ⑤ 学校支援者の募集依頼について

【第2回】学校運営協議会（平成30年7月24日 火曜日 午後7時～8時30分）

- ① めざす子ども像について熟議（まなび、こころ・からだ、ちいきの部会ごと）
- ② 未来へつなぐ学び支援事業について
- ③ 教職員の勤務について

【第3回】学校運営協議会（平成30年10月29日 月曜日 午後7時～8時30分）

- ① 全国学力・学習状況調査結果について
- ② 家庭学習の習慣化に向けて（家庭・地域の役割）
- ③ 小学校給食試食会について
- ④ 11月17日（土）防災訓練について

【第4回】学校運営協議会（平成31年2月25日 月曜日 午後7時～8時30分）

- ① 学校評価について
- ② 本年度の取組の成果と課題について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 基本方針の承認・学校評価の実施
- ② 小中一貫教育へ参画（国際交流イベント・つつじっ子会議）
- ③ 学校課題についての熟議（学習習慣の定着について等）



【基本方針の説明・承認】



【学校課題についての熟議】

(2) 【学校支援の充実】

- ① 小中一貫教育への支援
- ② 昼休みふれあい隊によるふれあい、清掃支援
- ③ 更生保護女性会によるあいさつ運動
- ④ ベビースマイル（中学生と赤ちゃんと子育てママのふれあい）
- ⑤ クラブ・部活動への支援
- ⑥ 環境整備
- ⑦ コアラさんによる登校安全パトロール
- ⑧ 図書館ボランティア・折り紙教室・紙芝居
- ⑨ モンキードッグの安全支援
- ⑩ 働く人から学ぶ会・学習支援（授業等の学習サポート）



【国際交流イベント】



【ふれあい隊による清掃支援】



【更生保護女性会によるあいさつ運動】



【ベタソックスへの支援】



【テニス部支援】



【ベビースマイル】



【環境整備】



【コアラさんによる見守り】



【図書館ボランティア】



【紙芝居支援】



【モンキードッグの安全支援】



【働く人から学ぶ会】

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 合同防災訓練
- ② 春・秋の子どもフェスタへの参画（つつじっ子会議）
- ③ 学校図書館の地域への開放（夏季休業中）



【合同防災訓練での小中学生の活躍】



【つつじっ子会議にて地域の行事へ参画】



【子どもフェスタへの参画】



【学校図書館地域への開放】

3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校支援コーディネーターを学校運営協議会に位置づけていただくことで、ボランティアの調整とともに地域と学校をつなぐ役割をさせていただいている。
- ◇「働く人から学ぶ会」の講師発掘については、地域づくり組織から働きかけていただくことでスムーズに運んだ。今後は、南中学校区だけにとどまらず、他の地域とのつながりをもって名張市全体の豊かな人材開拓が進むよう、取組を広めていきたい。
- ◇家庭学習の習慣化にむけて家庭や地域でできる方策を熟議することができた。
- ◇プログラミング教育について、近大高専と連携を図り取り組むことが提案され、来年度、土曜授業にて実施することとなった。
- ◇小中一貫英語カリキュラムに位置付けている「国際交流イベント」について、学校運営協議会に図り、運営を行っている。本年度は、地元の4大学他、県外の大学の留学生50名近くの参加をえて開催することができた。
- ◇「つつじっ子会議」において、生徒と地域の代表者6名とが地域行事等について議論を行った。特に春・秋の子どもフェスタには、生徒からのアイデアが盛り込まれ、つつじっ子会議のメンバーが運営の一役を担った。当日は、たくさんの児童・生徒の参加があり、地域の方々とのつながりを深める地域貢献の場となった。
- ◇小・中学校の児童・生徒と地域の方々による合同防災訓練は、2年目を迎えた。番町ごとに訓練を実施することにより、地域の方々とのつながりができてきている。

【課題】

- ◆防災訓練の充実
- ◆学校支援者の募集がなかなか捗らなかった。

4. その他

(1) 学校運営協議会の組織

南中学校区では小学校と中学校の教職員が3つの部会に分かれて、小中一貫教育を実施している。学校運営協議会についても小学校と中学校の組織を一つにして、南中学校区として会議を開催している。南中学校区学校運営協議会では、この小中一貫教育の内容について情報共有しながら、実践への参画・支援・場づくりを行っている。また、学校課題についても共有し、取組についてご意見をいただいている。



蔵持小学校

本校では、すべての学年において、子どもたちの「やってみたい」「調べてみたい」「会ってみたい」という気持ちを大切に、蔵持の人・もの・自然・文化・歴史とのつながりを重視した地域学習に取り組んでいます。子どもたちの学習は、たくさんのボランティアの皆様を支えていただいています。今後も子どもの姿を中心に据えて、教育活動の充実を図っていきます。

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会（平成30年11月5日 月曜日 15時～16時30分）

- ① 設置証交付、委嘱状交付
- ② 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ③ 学校運営の基本方針・教育課程等について
- ④ 学力・学習状況について
- ⑤ 情報交換

【第2回】学校運営協議会（平成31年2月12日 火曜日 13時45分～16時）

- ① 子どもの様子について
- ② 本年度の学校関係者評価について
- ③ 熟議（育てたい子どもの姿）について
- ④ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、子どもの様子の交流を行い、授業改善に向けて意見をいただいた。
- ② 学力・学習状況について共有し、課題解決について話し合った。
- ③ 「育てたい子どもの姿」についての熟議。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめる。



学校運営協議会の様子

(2) 【学校支援の充実】

- ① 学習支援ボランティアの人数が増え、生活科・総合的な学習等の授業の支援が広がった。
- ② 学校環境整備・登下校の見守り・読み聞かせ等、ボランティアとして地域の皆さんに協力いただいた。



【1年 昔遊び】



【5年 縄ない】



【草刈り】



【毎週木曜日 読み聞かせ】



【毎月 図書室の飾り付け】



【毎日 登下校の見守り】

(3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 地域の清掃活動に保護者や児童、教職員が参加し、通学路の清掃を行った。
- ② 蔵持地域のことを好きになり、将来的に地域で貢献できる子どもの育成を目指し、蔵持地区の人・もの・自然・文化・歴史とのつながりを重視した地域学習に取り組んでいる。



【地域の清掃活動】



【2・3年 蔵持市民センター見学】



【5年 田植え・稲刈り】



【1・2年 獅子神楽体験】

3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校行事や各学年での取組や子どもの様子等を伝えることで、様々な教育活動において、地域の方が積極的に学習支援ボランティアとして協力していただいた。
- ◇各学年における地域学習において、地域の方を講師として招いた授業を行ったり、保護者やボランティアとの協働による取組を行ったりした結果、地域の行事に参加する児童が増え、地域の方とのつながりが深まった。
- ◇地域の方とふれあうことで、教師自身が地域の方の思いや願いを知り、蔵持地域のよさに気づくことができた。
- ◇学習支援等でボランティアが必要なときは、コーディネーターを通じて声かけをしている。コーディネーターが50人あまりのボランティアの支援内容を把握し、まとめているので、スムーズな支援体制ができている。ボランティアの方も学校への支援を大変好意的にとらえてくださっており、学校にとってもボランティアの方にとっても大変有効なものとなっている。
- ◇地域の方からは、「子どもたちから元気をもらえるので、学校に行くのが楽しみです。」「子どもたちのためにできることがあれば何でもするので教えてください。」「わたしたちは蔵持小学校の応援団です。」など、協力的な声を聞かせていただき、学校と地域の連携の大きな一歩を踏み出すことができた。
- ◇本年度は、保護者と地域の方が一緒に活動する時間をたくさん設けたため、ボランティア活動の内容について知る良い機会となった。保護者から、「子どもが毎日安心して登下校することができるのは、登下校ボランティアの方のおかげです。」「地域の方がいつもあたたかく子どもたちを見守ってくださるので嬉しいです。」という声がたくさんあり、保護者と地域の方のつながりが深まった。

【課題】

- ◆学校運営協議会が立ち上がった今、学校と地域の連携をさらに深めていくためには、ボランティアの方の活用は重要であり、今後さらに発展させていく必要がある。ボランティアの方も学校への支援を大変好意的にとらえてくださっており、学校にとってもボランティアの方にとっても大変有効なものとなっている。このようなつながりを大切にしつつ、学校と地域のより密接な連携や、地域とともにある学校のための組織づくりをいかに進めていくかが課題であると考えます。

比奈知小学校

本年度よりコミュニティ・スクールとしてスタートしました。第1回の協議会では「地域がどんな子どもを育てたいのか話し合う必要がある。」「児童の地域貢献という視点もあると良い。」「学校と地域との双方向の交流を進めていきたい。」などたくさんのご意見をいただきました。

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会（平成30年5月31日木曜日13時～15時30分）

- ① 設置証交付、委嘱状交付
- ② 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ③ 学校運営の基本方針・教育課程・年間の学校行事等について
- ④ 研修会「コミュニティ・スクールの推進について」
- ⑤ 授業参観・情報交換設置証交付、委嘱状交付

【第2回】学校運営協議会（平成30年11月22日木曜日13時45分～15時00分）

- ① 子どもの様子について（前期の主な行事を振り返って）
- ② 本校の現状について（各種調査・アンケートより）
- ③ 学力・学習状況について（全国学力・学習状況調査結果より）
- ④ 熟議（地域で育てたい子どもの姿・今後の協議会のあり方について）
- ⑤ 授業参観・情報交換

【第3回】学校運営協議会（平成31年2月28日木曜日9時～11時30分）

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 本年度の学校関係者評価について「学校評価書」について
- ③ 来年度の学校運営について
- ④ 6年生を送る会を参観

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただいた。
- ② 「めざす子どもの姿」について、学校運営協議会委員・教職員・保護者（計11名）が熟議を行った。
- ③ 学校の課題について共有し、解決策についてご意見をいただいた。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめた。



【コミュニティ・スクールについての研修】



【「めざす子どもの姿」について熟議】

(2)【学校支援の充実】

- ① ボランティアコーディネーターからの発信により学習支援ボランティアの人数が増え、家庭科・生活科等の授業の支援が拡大した。
- ② PTA 行事（「友遊まつり（昔遊び集会）」）へボランティアとして地域の皆さんに協力いただいた。



【家庭科の学習支援】



【友遊まつり（昔遊び集会）への協力】

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 富貴ヶ丘の夏祭りへの参加（小学生が祭りを盛り上げる。踊り手として参加。）
- ② 比奈知文化センター、比奈知市民センター、なごみ集会所を学習の一環で見学した。また、職員の方から昔遊びを教えていただいた。
- ③ 児童が地域学習の一環として寺社や地域の史跡を見学した。
- ④ 地域を愛する子ども育成のため、比奈知市民センター主催のクリスマス行事を実施。



3. 成果と課題

【成果】

- ◇コミュニティ・スクール活動の初年度であったため、今までの活動を見直し、整理し学校と地域の関わりを改めて見直すことができた。
- ◇教職員が、地域の方々に支えられている学校であることの認識を新にした。
- ◇土曜授業日を有効活用し、教職員、地域の方々、PTA の方が協力する基盤づくりができた。

【課題】

- ◆教職員がコミュニティ・スクールを意識した教育活動の展開をする。
- ◆地域の活力を学校の教育活動に取り入れるとともに、学校の活力を地域貢献に生かす仕組みをより活発にする
- ◆初年度ということで学校や児童の様子を知ってもらうことに時間を費やしたが、今後は「熟議」の内容、方法等について考えていく必要がある。

箕曲小学校

本校の学校運営協議会では、学校・保護者・地域が連携し、「教育」「共育」「郷育」の3つの「きょう育」を進めるという共通理解を図り進めています。第2回学校運営協議会では、学校評価アンケートの結果からテーマを絞ってグループ協議を実施しました。

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会（平成30年6月7日木曜日13時25分～15時30分）

- ① 設置証交付、委嘱状交付
- ② 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ③ 授業参観
- ④ 名張市学校運営協議会規則の確認
- ⑤ 学校運営の基本方針・教育課程等について
- ⑥ 情報交換

【第2回】学校運営協議会（平成30年11月2日金曜日13時40分～16時）

- ① 授業参観
- ② 児童の様子、学力・学習状況について
- ③ 学校関係者評価結果について
- ④ ③を踏まえてのグループ協議子どもの様子について

【第3回】学校運営協議会（平成31年2月16日土曜日8時50分～）

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 平成30年度の学校評価書について
- ③ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただいた。
- ② 箕曲小児童のよさや課題を出し合い、改善にむけどのような取組ができるか熟議を行った。



【「めざす子どもの姿」について熟議】

(2)【学校支援の充実】

- ① 地域の方々を講師に迎え、親子体験教室を実施している。
- ② 民生委員さんを中心に下校指導を行っている。
- ③ 地域の酒米サポーターさんの協力のもと、田植え、稲刈り、餅つきと全校で一連の活動に取り組んだ。特に5年生は米作りの学習を深める機会となっている。



(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 文化祭・夏祭りの会場として学校を使用いただいている。文化祭では市民センターサークルの体験教室として図書室等を開放している。
- ② 箕曲文化祭の一環として、校内作品展を実施している。
- ③ 地域への愛着を深める行事として、箕曲地域づくり委員会子ども育成部会とともに箕曲探険物語（地域フィールドワーク）を実施している。
- ④ P T A ・地域づくり委員会共催の人権教育を開催した。
- ⑤ まちの保健室と協働し、「認知症キッズサポーター養成講座」を開催した。

3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校経営方針や学校運営に関わり、理解が進み、幅広い視点での意見や示唆がいただけ、学校運営がより円滑に進むようになった。
- ◇授業での子どもの様子を観察してもらい、児童理解が進んだ。
- ◇児童アンケートから得られた課題解決の糸口が地域が進めようとしている取組みと合致することがわかるなど、めざす姿が共有化された。

【課題】

- ◆熟議などにより、進むべき方向や、具体案は示されたが、組織としてそれを実現していくまでに至らなかった。

錦生赤目小学校

「すべては、子どもたちのために～学校・家庭・地域が協働して、子どもを育てる～」を推進目標とし、保護者および子どもたちの生活基盤である赤目地区と錦生地区の皆様方の参画により、子どもたちのことを基軸に話し合い、それを学校教育に活かしています。

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会（平成30年5月29日火曜日13時45分～15時55分）

- ① 授業参観
- ② 設置証交付、委嘱状交付
- ③ 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ④ 学校運営の基本方針・教育課程等について
- ⑤ 情報交換

【第2回】学校運営協議会（平成30年11月6日火曜日13時45分～15時55分）

- ① 授業参観
- ② 情報共有
- ③ 全国学力・学習状況調査の結果ならびに取組について
- ④ 熟議「子ども支援・地域貢献をどのように進めていけばよいか。」

【第3回】学校運営協議会（平成31年2月19日火曜日19時～）

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 「平成30年度の学校評価書」について
- ③ 熟議「育てたい子どもの姿について-学校・家庭・地域ができることは何か-」
- ④ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただいた。
- ② 学力・学習状況調査の結果から、学力向上に向けた取組について意見をいただいた。
- ③ 朝食を食べていない子が多い実態から、基本的な生活習慣確立を確実にするための取組について意見をいただいた。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめた。



学校運営協議会委員による授業参観



学力向上に向けた取組についての協議

(2) 【学校支援の充実】

- ① 毎朝の「あいさつ・声かけ運動」に地域の方の参加があり、たくさんの声かけが続いている。
- ② 学校生活支援ボランティアの活動が広がり、クリーン活動支援や、授業支援、PTA行事支援など、数が増えている。



「あいさつ・声かけ運動」

(3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 地区の夏まつりで児童が店番をする模擬店を出店した。
- ② 地域の敬老会で、6年生がお手紙を渡した。
- ③ 市民センターまつりに児童の作品を出品した。



市民センターまつりに児童の作品を出品

3. 成果と課題

【成果】

- ◇授業参観により、子どもの姿を共有することができた。
- ◇会を重ねるにつれ、「学校支援」「地域貢献」についての熟議が深まり、具体的な取組が具現化してきている。これまでの地域の活動をコミュニティ・スクールの活動に位置づけていこうとする意識が高まっている。
- ◇地域貢献の活動と学校の教育課程のつながりを深めるための足がかりが明らかになってきた。

【課題】

- ◆学校運営協議会委員の見直しを行う必要がある。
- ◆「学校の敷居が高い」という意識があるという意見があった。運営協議会で話し合われた内容を地域に発信していく手立てを広げていく必要がある。
- ◆地域に開かれた教育課程として展開するためにも、本校の総合的な学習（地域との出会い）と「学校支援」「地域貢献」とのリンクをしていく必要がある。

百合が丘小学校

登下校の見守りやあいさつ運動、学校内外の安全の確保、プールの安全支援、ほめほめ隊による授業支援等、地域の皆様方のご支援をいただいております。学校・保護者・地域が連携する「三位一体会議」を発展させる形で、今後の学校運営協議会を充実していきたいと考えます。

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会（平成30年6月16日土曜日 9時～11時10分）

- ① 設置証交付、委嘱状交付
- ② 名張市学校運営協議会規則及び名張版コミュニティ・スクールの推進について説明
- ③ 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ④ 学校運営の基本方針・教育課程等について
- ⑤ 授業参観（全クラス）
- ⑥ 熟議（これまでの課題と今後の課題について確認）

【第2回】学校運営協議会（平成30年10月20日土曜日 9時30分～11時30分）

- ① 挨拶
- ② 授業参観（全クラス）
- ③ 学力・学習状況について
- ④ 熟議（育てたい子どもの姿）について
- ⑤ 子どもの様子について 本年度の学校関係者評価について

【第3回】学校運営協議会（平成31年2月27日水曜日 19時～21時）

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 「30年度の学校評価書」について
- ③ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1) 【学校運営への参画】に係る具体的取組

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、児童の姿について意見をいただいた。
- ② これまでの課題について確認し、今後の課題や「めざす子どもの姿」について、学校運営協議会委員・教職員（15名）が熟議を行った。
- ③ 登下校や下校後の安全について、ご意見をいただいた。
- ④ アンケート結果や学校自己評価について協議し、「学校評価書」としてまとめた。



(2)【学校支援の充実】

- ① 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会をあげての「あいさつ運動」・「8・3運動」
- ② 学習支援「ほめほめ隊」として、教科学習の支援。
- ③ 読み聞かせ・野菜づくり・米づくり・ぶどう学習・クラブの指導等。
- ④ 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会の安全防災・防犯委員会からの、1・2年生の「下校見守り活動」。
- ⑤ 1学期の水泳の授業の見守りについて、地域づくり協議会・学校運営協議会・百合小の連名で募集いただき、約23名のボランティアの皆さんに支援いただいた。
- ⑥ 運動会のテント設営、授業参観での駐車場整理への支援。



(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会の教育文化部会が主催する「百合小こどもクラブ」の活動に、全校児童の約3分の1の児童が参加している。
- ② 夏祭りでは、百合が丘小学校で行っている「コアコア体操」を紹介していただいた。
- ③ 全校児童が、「敬老の日」を前に、シニアクラブの方々に運動会案内の手紙を書いた。
- ④ 2月15日に「ほめほめ隊」や各種ボランティアの方々を招待し、感謝の気持ちを伝える「ありがとう集会」を実施した。



3. 成果と課題

【成果】

- ◇青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会をあげて学校の支援をいただいていることで、保護者への理解も浸透してきている。
- ◇様々な形で、地域の方が学校に入って支援頂くことで、児童の安全が守られている。
- ◇各学年に応じた支援、算数・書写・家庭・図工・体育などが定着してきている。
- ◇学年ごとに野菜・米・ぶどうなどを育て、収穫することを通して、「命を育てる」学習が学校全体としてできている。

【課題】

- ◆3名のボランティアコーディネーターや校長、教頭、教務など、連絡・調整する担当者の負担が大きい。
- ◆新しい「ほめほめ隊（学習支援）」のメンバーの募集が厳しい。
- ◆同じ方に、1日3時間や4時間入っていただくこともある。
- ◆「熟議」のテーマをしぼることが難しい。
- ◆単年度でなく、数年かけて取り組むべき課題も多い。
- ◆たくさんのボランティアの方々の把握が難しく、連絡や案内が十分にできない。

赤目中学校

赤目中学校の生徒の様子を知っていただくために、学校運営協議会の前に、授業や文化発表会の参観の機会を設けてきました。文化発表会の生徒の纏りを見て、「今こころ一つに」のテーマの様に学校・地域・保護者も力を合わせていかなければと再確認しました。

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会（平成30年5月19日（土）午後3時より）

- ① 設置証交付、委嘱状交付、運営協議会規則の確認
- ② 会長・副会長の選出
- ③ 学校運営基本方針の説明と承認
- ④ 本年度の教育課程と学校行事等の説明等

【第2回】学校運営協議会（平成30年10月26日（金）午後3時より）

- ① 学校教育の中間報告と質疑
- ② 全国学力調査の結果と分析報告
- ③ 学校評価書について
- ④ 文化発表会参観

【第3回】学校運営協議会（平成31年2月26日（火）午後7時より）

- ① 本年度の学校運営についての報告
- ② 保護者及び生徒アンケート結果の報告と協議
- ③ 学校評価書について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】に係る具体の取組

本年度、本校校区の三小学校（錦生赤目小、箕曲小、百合が丘小）と共に、学校運営協議会を設置した。昨年までの、学校評議委員会と学校関係者評価委員会を廃止して、校区の地域づくり協議会、保護者（PTA）の代表者と学識経験者、校長の合計11名の委員で「赤目中学校学校運営協議会」がスタートした。5月に第1回協議会を開催して、名張市教育委員会から設置書の交付、委員委嘱が行われた。以下、本日までに2回の協議会を開催している。（上記1、参照）



【学校運営協議会の様子】

(2)【学校支援の充実】に係る具体の取組

① 部活動支援（剣道部）

剣道経験がない教員が剣道部の顧問となったが、剣道部の運営は顧問が担うことができるものの、技術指導が不十分のため学校支援ボランティアが部員の技術指導をおこなっている。

② 学校環境支援

校内の生け花や学校周辺の除草作業や花壇や畑づくりの支援をいただき、学校環境支援を行った。



【剣道部練習の様子】



【学校環境美化】



【校内の生け花】

(3)【地域貢献の場づくり】に係る具体の取組

① 学校環境デー（年間2回 6月、11月に実施）

土曜授業日を活用して地域住民の協力で生徒が校区の美化活動を行った。数少ない地域住民と生徒の交流の機会であり、地域の住民も積極的に協力していただいた。

【地域の方とともに校区内の清掃活動】



3. 成果と課題

(1) 教育活動への支援について

【成果】

- ・部活動に於いて顧問が苦手な分野の技術的な指導の補助をお願いし、大会等で成果となって現れてきた。
- ・校舎周辺の除草作業や花壇・畑整備支援を定期的に依頼し美化に成果を得た。また、生け花など校内美化を支援していただいた。

【課題】

- ・継続的に学校支援をいただける人材の確保。

(2) 学校・地域の連携の視点から

【成果】

- ・学校ボランティアとして関わっていただいている方は協力的で、成果も出ており、関係する教職員からも高い評価を得ている。

【課題】

- ・今後も継続的に支援をいただける人材の確保。

平成30年度

コミュニティ・スクールだより

第1号



名張市教育委員会事務局発行



学校運営協議会

新たに5校に設置

平成30年4月、新たに5校が学校運営協議会設置校<コミュニティ・スクール>となりました。

新たにコミュニティ・スクールとなったのは、比奈知小学校、箕曲小学校、錦生赤目小学校、百合が丘小学校、赤目中学校です。昨年度設置のつつが丘小学校、南中学校と合わせて、市内の設置校は、5小学校、2中学校となりました。第1回学校運営協議会は、それぞれの学校で5月中旬以降開催される予定です。

学校運営協議会設置校	
つつが丘小学校	平成29年4月設置
南中学校	平成29年4月設置
比奈知小学校	平成30年4月設置
箕曲小学校	
錦生赤目小学校	
百合が丘小学校	
赤目中学校	

名張市青少年育成推進員連絡協議会 研修会

4月24日、市内各地域で青少年の健全育成に取り組んでいる名張市青少年育成推進員連絡協議会の研修会において、<～名張市のめざす「コミュニティ・スクール」の姿～>と題して教育総務室職員2名より、名張版コミュニティ・スクールの概要・取組等についてお話させていただきました。資料として【名張市のめざす「コミュニティ・スクール」推進の手引き】を配布しました。



♪資料ご入用の方は、下記までご連絡ください♪
教育総務室TEL: 63-7849

名張市のめざすコミュニティ・スクールの姿 part.1

part.1 コミュニティ・スクールって何？

「コミュニティ・スクール」についてシリーズでお伝えします♪

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校のことを指します。

学校運営協議会の主な役割は、

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- ②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることなどです。

コミュニティ・スクールのめざすものとは

子どもを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・困難化しています。コミュニティ・スクールは、未来を担う子どもの豊かな成長のために、社会総がかりでの教育を実現するものです。

名張市では、コミュニティ・スクールを設置することで、子どもに<夢を実現する力>と<社会を拓く力>を育成することをめざしています。

夢を実現する力

- ◆基礎的・基本的な知識・技能
- ◆思考力・判断力・表現力
- ◆学習意欲
- ◆たくましく生きるための健康や体力
- ◆問題解決能力

社会を拓く力

- ◆コミュニケーション能力
- ◆名張を愛する心
- ◆人権を尊重する意欲・態度
- ◆規範意識
- ◆思いやりや感動する心
- ◆新しい価値を創造する力
- ◆社会をよりよくなる力

★次回テーマは<名張版コミュニティ・スクールの特徴>についてです★

平成30年度

コミュニティ・スクールだより

第2号



名張市教育委員会事務局発行

第1回学校運営協議会 開催！！

5月に開催された学校運営協議会の様子をお知らせします。

19日
(土)



赤目中学校

5月の土曜授業日、第1回学校運営協議会が開催されました。前半、明るく元気で落ち着いた生徒の学習を参観し、その後の協議会では、学校の現状等について熱心に情報共有がなされました。

29日
(火)



錦生赤目小学校

学校運営基本方針承認の後、校長より錦生赤目小学校学校運営協議会の推進目標「すべては子どもたちのために～学校・家庭・地域が協働して子どもを育てる～」について提案がありました。具体的な取組についても、建設的な意見が出されました。

29日
(火)



南中学校区

2年目となる南中学校区の学校運営協議会。昨年度の防災訓練の反省をどう活かすか、サル出没の被害への対応等について議論が交わされました。本年度は、つつが丘会議における生徒のアイデアを、実現させる取組を行っています。

31日
(木)



比奈知小学校

第1回学校運営協議会において、「名張市がめざすコミュニティ・スクールの姿」についての研修を実施しました。委員からは、活発な質疑があり、比奈知小学校がめざすコミュニティ・スクールの姿を具体的にイメージする第1歩となりました。

名張市のめざすコミュニティ・スクールの姿 part.2

part.2 名張版コミュニティ・スクールの特徴は？

名張版コミュニティ・スクール 3つの特徴

名張版コミュニティ・スクールでは、各学校に設置した「学校運営協議会」において、次の3つのことに取り組みます。

学校運営への参画

- めざす子どもの姿を共有し、教育課程・授業改善・学校評価等の学校運営に参画します。小中一貫教育の取組についてもご意見をいただきます。

学校支援の充実

- めざす子どもの姿の実現のために、学習支援・部活動支援・環境美化・安全確保支援等の学校支援に取り組みます。

地域貢献の場づくり

- 地域を愛し、地域を担う人づくり、地域の絆づくりのため、地域貢献の場をつくります。地域づくり組織のビジョンを共有し、地域とともに子どもたちを育みます。

3つの特徴について、次回からくわしくお伝えします♪

★次回テーマは<学校運営への参画>についてです★

平成30年度

コミュニティ・スクールだより

第3号

名張市教育委員会事務局発行

第1回学校運営協議会 開催！！パート2

6月に開催された学校運営協議会の様子をお知らせします。

7日
(木)

箕曲小学校



授業参観後、校長より小中一貫9年間を見通した赤目中学校区の教育目標・めざす子ども像、また、小学校の現状、本年度の改善方策、重点目標など、学校経営について詳細が説明されました。保護者・地域、中学校と連携した「共育」「郷育」に取り組むことを重点とする方向性が示されました。

16日
(土)

百合が丘
小学校



学校支援地域本部の【三位一体会議】を発展させ、学校運営協議会が組織されました。委員の皆さんは小学校の子どもたちに以前から関わってくださっている方々です。当日は、これまでの支援等の中で課題となっていることやこれからさらに取り組んでいくべきこと等、熱心に議論されました。

「コミュニティ・スクール サポート事業」を実施しています

教育委員会では、コミュニティ・スクール推進に向け、「コミュニティ・スクール サポート事業」を実施しています。学校運営協議会の役割、具体的な運営方法、実践例等について学び、めざす子どもの姿や学校課題について共有化を図るための「熟議」のお手伝い（ファシリテーター）をいたします。

☆活用の際は各小中学校を通じて、お申し込みください☆
問い合わせ先：教育総務室TEL:63-7849

名張市のめざすコミュニティ・スクールの姿 part.3

part.3 「学校運営への参画」とは？

「学校運営に関する基本的な方針の承認」は、必須事項です。第1回の学校運営協議会において、校長はこれらについて協議会の承認を受けます。



1 校長が示す学校運営に関する基本的な方針への承認

その後「めざす子どもの姿」「実現のための取組」「小中一貫教育」「学校課題」「学校評価」等について協議・熟議します。



2 「めざす子どもの姿」の熟議・共有



3 子どもの現状把握と授業改善のための参観



4 国際交流フェスタ

【市内の取組例（平成29年度）】

南中学校区では、学校運営協議会にて「地域のよさ・課題・育てたい子どもの姿」について熟議を行いました。【写真②】

また、子どもの現状の把握と授業改善のために学校運営協議会委員による授業参観を行いました。【写真③】

教育課程の内容として、小中一貫教育の取組について学校説明があり、委員よりご意見をいただきました。特に、小中一貫教育の取組の一つである「国際交流フェスタ」については、運営や参加について地域の皆さんに協力いただきました。【写真④】

最後の学校運営協議会では、学校評価について協議されました。

「学校運営」「めざす子どもの姿」「実現のための取組」「小中一貫教育」「学校課題」「学校評価」等について協議・熟議していくことが、学校運営への参画です。

★次回テーマは＜学校支援の充実＞についてです★

平成30年度

コミュニティ・スクールだより

第4号

名張市教育委員会事務局発行
2018.7.20

名張市小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会開催

7月12日（木）、「名張市小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会」を開催しました。

協議会は、学識経験者、小・中学校のPTA代表、地域等代表（地域づくり組織）、小・中学校の校長代表、小・中学校の教頭代表、小・中学校の教職員代表、教育委員会職員、地域環境部職員にて構成されています。

当日は、コミュニティ・スクール設置校の実施状況とともに各中学校区代表で出席の校長より、小中一貫教育導入・推進に係る現状報告がなされ、貝ノ瀬視学委員より指導助言いただきました。



文部科学省
貝ノ瀬 滋 視学委員

教育フォーラム講演会

貝ノ瀬視学委員を講師としてお招きし、小中一貫教育、コミュニティ・スクールについて講演会を予定しています。

月日：平成30年12月1日（土）

場所：名張市教育センター

（※詳細決定次第、掲載いたします。）

名張市のめざすコミュニティ・スクールの姿 part.4

「学校支援の充実」とは？

名張市では平成17年度より学校支援ボランティアの登録制度を設け、平成20年度からは、国の学校支援地域本部事業を受ける中で、市内すべての学校においてボランティアによる学校支援の仕組み作りがなされてきました。現在も「学習支援」「環境美化」「体験活動のゲストティーチャー」「部活動支援」「安全確保支援」等にたくさんのボランティアの方にご支援をいただいています。

コミュニティ・スクールでは、これまでの仕組みを基盤にして、各校における学校支援体制の一層の充実を図ります。

【市内の取組例】



【学習支援】家庭科の調理実習
＜比奈知小学校＞



【学習支援】地域学習「もの袋かけ」
＜箕曲小学校＞



【清掃支援】そうじのしかた
＜つつじが丘小学校＞



【登下校見守り支援】
＜百合が丘小学校＞



【環境整備支援】
＜鎮生赤目小学校＞

学校運営協議会で熟議された「めざす子どもの姿」実現に向け、学校支援の充実に取り組んでいます。

★次回テーマは＜地域貢献の場づくり＞についてです★

コミュニティ・スクールだより

第5号

名張市教育委員会事務局発行
2018.9.5

教職員研修会を開催しました

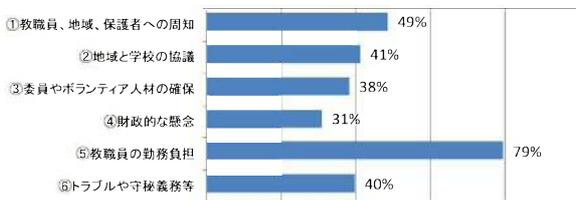
8月21日(火) 教職員を対象にコミュニティ・スクール推進研修会を開催しました。



講師として、文部科学省コミュニティ・スクール推進員(CSマイスター)であり、山口県教育委員会CS統括コンダクターを務められる 木本育夫さんをお招きし、「コミュニティ・スクールのねらいと具体的な導入の在り方 ～効果的なシステムづくりを通して～」と題して講演をお聞きしました。教職員の参加者は、約80名。木本先生から講演をいただいた後、小グループに分かれて熟議のワークショップを行いました。

コミュニティ・スクール推進の課題は？

～研修会参加者アンケートから～



参加者を対象にしたアンケートでは、「コミュニティ・スクールに関わる取組を進めるに当たって課題となっていること」について、上記のような回答を得ました。今後の推進に当たっては、教職員や保護者・地域のみなさんへの周知を引き続き行うとともに、教職員の勤務負担軽減に向けての取組が必要です。

名張市のめざすコミュニティ・スクールの姿 part.5

「地域貢献の場づくり」とは？

コミュニティ・スクールでは、学校でどんな子どもを育てていくのかを熟議する中で、地域のビジョン・願いについても共有していきます。

子どもが地域学習に取り組んだり、学習支援等で地域のみなさんが学校に入っていたりすることにより、子どもと地域のみなさんとのふれあい、つながりが生まれていきます。子どもが将来の地域について考える場を持つ取組も行います。学校が地域の絆づくりの場となり、地域のみなさんにとっても生涯学習の場となっていく。そんな地域貢献の場をめざします。

【市内の取組例】 <南中学校区>

防災訓練(昨年度)
小中学生も番町ごとに避難を実施。炊き出し・防災研修等に参加し、地域の方とのつながりを深めました。



つつじ子会議

つつじが丘、春日丘、国津をより魅力的な街にする為、昨年度から定期的に会議を持ち、意見を出し合ってきました。本年度は「子どもフェスタ」について話し合い、取り組みました。



「子どもフェスタ」への参画
つつじ子会議の中学生が子どもフェスタへ参画！ホットサンドとポークビーンズを作り皆さんに食べていただきました。地域の皆さんとたくさんふれあって話げできました。



★次回テーマは<熟議>についてです★

コミュニティ・スクールだより

第6号

名張市教育委員会事務局発行
2018.10.18

演題

講演会を開催します

コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育

市内で取組が始まっている「コミュニティ・スクール」と「小中一貫教育」について、わかりやすくお話しいたします。

講師：文部科学省初等中等教育局
視学委員 貝ノ瀬 滋 氏



日時：平成30年12月1日(土) 10時30分～12時

「教育フォーラムinなばり2018」にて

場所：名張市教育センター 大研修室
(百合が丘西5-25)



講師プロフィール **ご来場、お待ちしております！**

1948年、北海道生まれ。中央大学卒。東京都内公立学校教諭、三鷹市立第四小学校長、三鷹市教育長、三鷹市教育委員会委員長を経て、三重県教育委員会特別顧問、文部科学省参与を務める。現在は文部科学省初等中等教育局視学委員、福島県復興教育アドバイザー。校長時代から学校ボランティア制度を立ち上げ、「開かれた学校づくり」を推進する。三鷹市教育長を務めた際には、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を市内全校に拡大し、全国から注目される。

名張市のめざすコミュニティ・スクールの姿 part.6

「熟議」とは？



「熟議」とは、

協働をめざした対話のことをいいます。

1. 多くの当事者(保護者、教員、地域住民等)が集まって、
2. 課題について熟慮し、議論をすることにより、
3. 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
4. 解決策が洗練され、
5. 施策が決定されたり、個々が納得して自分の役割を果たすようになります。

<文部科学省HPより引用>

「熟議」の配慮事項は？

- * テーマは、未来志向・前向きなテーマで
- * 熟議のゴールを明確に
- * アイデアをどんどん出し合う

「熟議」のテーマは？

- ☆ 中学校卒業時に育ててほしい子どもの姿
- ☆ めざす子ども像から具体的な取組を考える
- ☆ 今、学校が必要としている学校支援とは
- ☆ 地域の力をどう子どもたちの教育に生かすか 等

「熟議」の方法は？⇒ ★次回のテーマとします★

★次回テーマは<熟議の方法>についてです★

平成30年度

コミュニティ・スクールだより

第7号

名張市教育委員会事務局発行
2018.11.16



蔵持小学校学校運営協議会

11月1日設置

11月1日、蔵持小学校学校運営協議会が設置されました。5日(月)には、第1回蔵持小学校学校運営協議会が開催され、校長より平成30年度の経営計画・教育課程等が説明されました。協議会の中では、あらためて蔵持小学校の学校運営協議会の目的等も確認される中、蔵持小学校の子どもたちの育ちを皆で支えていくことが共通認識されました。



コミュニティ・スクール講演会を開催します

演題：コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育

講師：文部科学省初等中等教育局視学委員

貝ノ瀬 滋 氏

市内で取組が始まっている「コミュニティ・スクール」と「小中一貫教育」について、お話しいたします。

日時：平成30年12月1日(土) 10時30分～12時

「教育フォーラムinなばり2018」にて

場所：名張市教育センター 大研修室

(百合が丘西5-25)

ご来場、お待ちしております!



名張市のめざすコミュニティ・スクールの姿 part.7

「熟議」の方法

「熟議」では、参加者一人ひとりの思いを十分に話し合うことが大切です。付箋を活用した方法が有効です。

①テーマの確認

★★学校の子どものよところ・心配などを出し合ひましょう!



②個人思考(考えを付箋に記入します。)

1枚の付箋に、考えを1つずつ書きます。

③グループ討議(付箋を貼りながら考えを出し合ひます。)

声に出して読みながら、付箋を貼っていきます。アイデアをどんどん出し合ひます。

④グループまとめ(グループの考えをまとめます。)

出し合った考えをまとめて、模造紙に大きくタイトルを書きます。

⑤グループ発表

模造紙を見せながら、グループのまとめを発表します。

⑥全体のまとめ(具体的な計画や行動につなげるまとめをします。)

熟議の内容を、今後の具体的な計画や行動につなげることが大切です。

子どもたちの姿を思い描きながら、熟議をしてください。参加者が子どもたちへの思いや願いを出し合うことで、みんなが子どもたちを育てていこうとする気運が高まります。是非、保護者や地域の皆さんの中に教職員も入って熟議をしてください。学校と地域との距離がぐーんと縮まります!

★次回テーマは<コミュニティ・スクールの組織>についてです★

平成30年度

コミュニティ・スクールだより

第8号

名張市教育委員会事務局発行
2018.12.3



コミュニティ・スクール視察研修

滋賀県湖南市立岩根小学校

地域づくり代表者会議では、11月26日(月)、コミュニティ・スクール視察研修を実施しました。



視察場所は、平成17年から2年間、文部科学省「コミュニティ・スクール調査研究校」を受託し、19年度から本指定を受け今年度で12年目を迎え「地域による学校支援活動」を積極的に推進されている湖南市立岩根小学校です。

岩根小学校運営協議会では、「21世紀をたくましく生きる地域の担い手の育成」をめざし、そのために子どもの課題の共有と、熟議と研修を実施しながら取組を進めておられます。立ち上げ当時の「地域の力を学校に」という理念と、支援を必要とする子や外国籍児童等、個別の支援にも視点を置くことを大事にされています。また、学校評価についても評価アンケートの内容検討や集約とともにそれを次年度の学校運営へ活かしているよう、提言も行っています。多くを学ばせていただいた実り多き視察研修でした。岩根小学校関係者の皆様、ありがとうございました。

名張市のめざすコミュニティ・スクールの姿 part.8

コミュニティ・スクールの組織・構想 ~PART 1~

南中学校区コミュニティ・スクール

南中学校区では小学校と中学校の教職員が3つの部会に分かれて、小中一貫教育を実施しています。学校運営協議会についても小学校と中学校の組織を一つにして、南中学校区として会議を開催しています。南中学校区学校運営協議会では、この小中一貫教育の内容について情報共有しながら、実践への参画・支援・場づくりを行っています。また、学校課題についても共有し、取組についてご意見をいただいています。

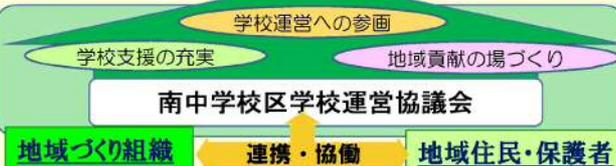
南中学校・つつじが丘小学校

【めざす子ども像】

小学校：夢と希望を持って生き生きと(自発的に)活動する児童
中学校：夢の実現に向け自ら考え、主体的・自律的に行動する生徒

まなび部会 学力向上への取組 授業改善 乗り入れ・出前授業 補充学習 国際交流イベント	こころ からだ 部会 人権教育 体力向上への取組 いじめ防止 生活規律 (あいさつ運動等)	ちいき部会 なばり学 地域防災訓練 つつじ子会議 地域子どもフェスタ
---	---	---

小中一貫教育の実践



★次回テーマは<コミュニティ・スクールの組織・構想~PART 2~>です★

コミュニティ・スクールだより

第9号

名張市教育委員会事務局発行
2018.12.12

教育フォーラムにて講演会 「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」



＜フィナーレ「名張中学校オーケストラ部」の皆さんの演奏＞

12月1日(土)に開催された「教育フォーラムinなばり2018」は、約970名の皆様にご来場いただきました。午前中の式典後の講演会では、「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」と題して、文部科学省初等中等教育局 貝ノ瀬 滋 視学委員よりご講演いただきました。



＜講演会:貝ノ瀬 滋 視学委員＞

講演会では、コミュニティ・スクールおよび小中一貫教育について、その必要性や成果・課題等幅広い観点でお話いただき、名張市が取り組むコミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫についても講評いただきました。

ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。

コミュニティ・スクールだより (第1号～第9号)は、
名張市公式ホームページ <http://www.city.nabari.lg.jp/>
に掲載しております。

コミュニティ・スクール名張 **検索**

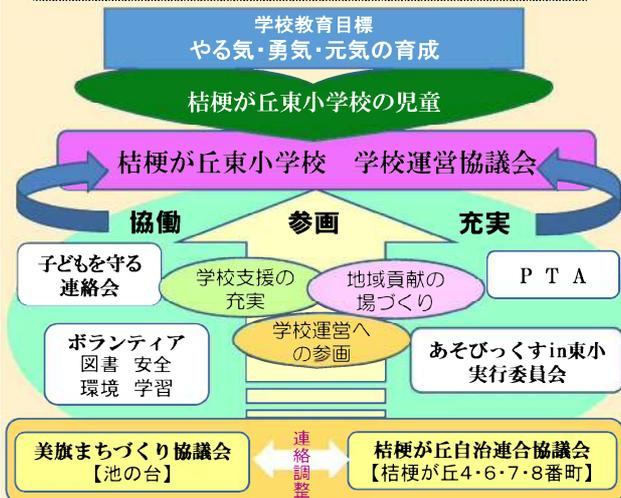


名張市のめざすコミュニティ・スクールの姿 part.9

コミュニティ・スクールの組織・構想 ～PART 2～

桔梗が丘東小学校のコミュニティ・スクール準備委員会では、来年度の設置を目指して、組織・構想についても話し合われています。

桔梗が丘東小学校コミュニティ・スクールの構想



桔梗が丘東小学校区の子どもは、2つの地域づくり組織の皆さんにお支えいただいています。そして、すでに子どもの成長を支えるいくつかの組織があります。「子どもを守る連絡会」「あそびっくすin東小実行委員会」「学校支援ボランティア」「PTA組織」などなど……。これらの組織の構成員の方が、学校運営協議会の委員となり学校運営に参画するとともに、それぞれの組織が協働し、子どものために、取組を充実させていきたいと考えています。

★次回テーマは＜市内のコミュニティ・スクール紹介＞です★

コミュニティ・スクールだより

第10号

名張市教育委員会事務局発行
2019.3.15

第2回名張市小中一貫 コミュニティ・スクール推進協議会開催

第2回名張市小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会を、2月12日(火)14時から名張市防災センターにて開催しました。この推進協議会は名張市における小中一貫教育とコミュニティ・スクールの推進の方向性や、各中学校区の推進状況や課題等について情報共有を図る目的で設置しています。

今回は、コミュニティ・スクール設置校の校長から本年度の取組報告があり、文部科学省 視学委員 貝ノ瀬 滋先生に助言をいただきました。



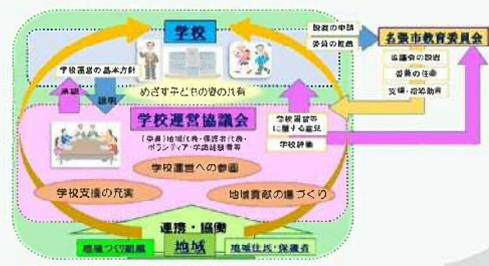
市内のコミュニティ・スクール紹介 「コミュニティ・スクール実践集2018」 を発行しました

「コミュニティ・スクール実践集2018」の内容



- ◇ 名張市のめざすコミュニティ・スクール姿
- ◇ 各学校運営協議会の取組
 - ・南中学校区 学校運営協議会 (つつじが丘小学校・南中学校)
 - ・蔵持小学校 学校運営協議会
 - ・比奈知小学校 学校運営協議会
 - ・箕曲小学校 学校運営協議会
 - ・錦生赤目小学校 学校運営協議会
 - ・百合が丘小学校 学校運営協議会
 - ・赤目中学校 学校運営協議会

名張版コミュニティ・スクール



コミュニティ・スクール実践集2018 は

名張市公式ホームページ <http://www.city.nabari.lg.jp/>
に掲載しております。

コミュニティ・スクール名張 **検索**

